

令和4年度 木の香る淡海の家推進事業実績の概要



令和5年3月

県産木材活用推進協議会

令和4年度 木の香る淡海の家推進事業実績

- 1) 4年度事業の概要
- 2) びわ湖材使用量の確認
- 3) 募集時期、地域（市町）別決定戸数
- 4) 工務店、納材業者別建築戸数

〈はじめに〉

平成21年度からスタートした助成金制度による「木の香る淡海の家推進事業」は14年目となった。この間、びわ湖材の流通拡大と安定取引を図るため、当事業の普及ならびに制度内容の周知に努めてきたところである。制度の定着とともに、製材業者や工務店からの当事業に対する期待はますます高まっており、当事業が県内の木材業界を力強く下支えしているとともに、びわ湖材の活発な流通に大きく寄与しているものといえる。

新築助成、木質化改修ならびに木塀設置の助成を決定する審査会は原則月1回開催し、3月に4月1日以降着工する案件について事前審査を行い、その後4月から1月の間に計11回開催した。毎回実施される審査会は7名（森林組合連合会、建設業協会、建築士会、建築住宅センター、建築組合、木材協会、森林政策課）の審査員で構成され、締切り後の早い時期に、提出書類を審査し、条件に合致し、不備がなければ助成を決定し、その後、決定者に対して、事業目的、提出書類、現場確認、注意事項等について個別に説明することに努めた。

そういった中、今年度から新築助成のびわ湖材使用量区分を2区分から3区分に増やし、びわ湖材を20 m³以上使用した場合、50万円の助成を行った。その結果、前年度15 m³以上使用した件数が30件であったが、今年度は15 m³以上20 m³未満が21件、20 m³以上使用した件数が17件で、昨年度の実績を8件上回った。また、3月に事前審査を行い4月1日以降施工分についても対応できるようにした結果、この制度に移行して以来、申請件数は最高の134件となった。

また、今年度から林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示のガイドライン」に準拠し、びわ湖材の炭素貯蔵量と木材全体の炭素貯蔵量についても表示を求めた。新築助成でのびわ湖材の炭素貯蔵量は1,067.3t-CO₂となった。

1) 令和4年度事業の概要

滋賀県における森林の多面的機能の発揮と「びわ湖材」の普及啓発及び円滑な流通を促進するため、以下の内容で事業を行った。

①新築助成

(助成の内容)

区分	1戸当たりのびわ湖材の使用量	助成金額	びわ湖材の使用基準
I	7.5 m ³ 以上 15 m ³ 未満	30万円	構造材 3 m ³ 以上使用
II	15 m ³ 以上 20 m ³ 未満	40万円	構造材 5 m ³ 以上使用
III	20 m ³ 以上	50万円	構造材 7 m ³ 以上使用

※1戸建て専用住宅等（事務所、商店が対象に追加）で、バリアフリーに配慮

①構造材とは、土台、大引、柱（通、管）、梁（小屋梁含む）、桁、胴差、母屋、棟木、隅木、小屋束、火打、方づえ等とする。

②びわ湖材製品も助成対象とする（針葉樹合板、集成材）

②既存住宅等木質化改修

（助成の内容）

区 分	1 m ² あたりの助成金額	備 考
既存住宅等の 木質化改修	3千円	助成金上限額は、1戸あたり20万円とする。 なお、算出した助成金の金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

※「木質化改修」とは、既存住宅等の内装、外装の改修および耐震改修をいう。

- ①「内装」とは、住宅内部の床面、壁面、および天井面をいい、「外装」とは住宅外部の壁面等をいう。
- ②「内外装仕上材」とは、内装および外装の仕上げとして施工される厚さが9ミリメートル以上のびわ湖材またはびわ湖材製品である板類等をいう。
- ③「耐震改修」とは、びわ湖材等の柱材、平割材、構造用合板等により補強することをいう。

③住宅等の木塀設置

（助成の内容）

区 分	1 m ² あたりの助成金額	備 考
木塀設置	5千円	助成金上限額は、1戸あたり30万円とする。 なお、算出した助成金の金額に千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

※「木塀」とは、塀、柵、その他これに類する外構施設で、木材を用いた工作物

※助成面積の算出：木塀の施工面積のうち、びわ湖材の鉛直投影面積により算出する。

2) びわ湖材使用量の確認

■書類審査

工務店から提出していただく申請書には、びわ湖材使用計画書および貼付図面（平面図、立面図、伏せ図等）に使用箇所、部材名、寸法、規格が分かるようにしておくとともに、納材業者（びわ湖材取扱業者）の納材確約書の添付を義務付けている。

■現地確認

上棟または改修工事・設置工事が終了し、びわ湖材の使用が概ね完了した時点で、現地の確認を協議会が実施している。この時、びわ湖材証明書の提出を義務付けている。

現地確認は、申請書類（主にびわ湖材利用計画書）に基づき実施しているが、申請時と上棟時等で使用量が異なる場合は、実際の利用実績を提出させ、それに基づき確認を行っている。

3) 募集期間と助成決定・確定状況、地域（市町）別確定戸数

令和4年度の募集時期は、3月1日から3月22日に4月1日以降に着工する案件について事前審査を行い、第1回目を4月1日から4月18日、第2回目を4月19日から5月31日までとし、その後、11月までは毎月月末締めとし、12月は16日、1月は17日を締切りとし、合計11回の募集を行った。

①募集期間と助成の決定状況

(新築等助成)

募集回	募集期間	助成決定戸数等		
		新築等	木質化改修	木塀設置
3月募集	3月1日～3月22日	15	0	1
第1回募集	4月1日～4月18日	7	0	0
第2回募集	4月19日～5月31日	17	0	1
第3回募集	6月1日～6月30日	9	0	1
第4回募集	7月1日～7月29日	13	1	0
第5回募集	8月1日～8月31日	9	0	1
第6回募集	9月1日～9月30日	15	2	0
第7回募集	10月1日～10月31日	14	0	0
第8回募集	11月1日～11月30日	18	0	1
第9回募集	12月1日～12月16日	11	0	1
第10回募集	12月19日～1月18日	6	1	0
合計		134	4	6

②助成確定状況（助成実績）

新築等助成の決定戸数134戸に対し、助成決定後に開発許可の遅れなどにより申請の取下げが5件発生したため、助成確定戸数は129戸の実績であった。

また、木質化改修助成の決定戸数4戸に対し、助成決定後に申請の取下げが1件、木塀設置助成の決定戸数6戸に対し、助成決定後に申請の取下げが1件発生したため、助成確定戸数は木質化改修が3戸、木塀設置が5件の実績であった。

(新築等助成)

びわ湖材使用数量別実績戸数（戸）				助成額 （千円）	びわ湖材 使用量 （m ³ ）	びわ湖材の 炭素貯蔵量 t-CO ₂
7.5 m ³ ～ 15 m ³ 未満	15 m ³ ～ 20 m ³ 未満	20 m ³ 以上	計			
92	20	17	129	44,100	1,514.97	1,067.3

(木質化改修)

助成実績戸数 (戸)	助成額 (千円)	内装木質化面積 (m ²)
3	529	223.04

(木塀設置)

助成実績戸数 (戸)	助成額 (千円)	鉛直投影面積 (m ²)
5	1,176	242.36

地域 (市町) 別 助成確定 (単位: 戸)

市町名	新築	改修	木塀
大津市	15	1	0
彦根市	10	1	0
長浜市	41	0	2
近江八幡市	4	0	1
草津市	3	0	0
守山市	4	0	0
栗東市	1	0	0
甲賀市	6	0	0
野洲市	1	0	0
湖南市	2	0	0
高島市	6	1	0
東近江市	8	0	0
米原市	12	0	1
日野町	7	0	1
竜王町	1	0	0
愛荘町	2	0	0
豊郷町	0	0	0
甲良町	1	0	0
多賀町	5	0	0
実績合計	129	3	5

新築については、長浜市が41戸(31.8%)と最も多く、次に大津市15戸(11.6%)、米原市12戸(9.3%)彦根市10戸(7.8%)、と続く。この4市で全体助成件数の60.5%を占めた。

新築等助成対象でのびわ湖材の使用量は、約1,515 m³となり、過去最高となった。また、1戸当たりのびわ湖材平均使用量について、昨年度は共同住宅での利用があったため、今年度は昨年度に続き2番目となった。

R4 : 11.74 m³ R3 : 12.10 m³ R2 : 10.17 m³ R元 : 10.64 m³ H30 : 10.78 m³

木質化改修では、助成件数が3件と昨年より2件減少した、木質化改修面積は223.04 m²であった。

木塀設置では、助成件数が5件となり、鉛直投影面積は242.36 m²であった。

4) 工務店（新築戸数）、納材業者（びわ湖材納入材積、納入戸数）

工務店	単位：戸	納材業者	m ³	戸
内保製材(株)	15	(株)スンエン長浜	273.09	23
(株)安田工務店	15	鳥居木材(株)	217.71	17
グラッソ(株)	7	内保製材(株)	168.76	15
(株)スムーズ	7	三栄木工(株)	73.17	2
(株)マルト	7	(株)滋賀原木	70.50	7
松井建設(株)	6	(株)八興	66.63	8
北川建築	4	(株)スンエン関西	66.30	8
匠堂合同会社	4	(株)シガウッド	64.97	7
(有)西川技建工業	4	山田木材(株)	64.21	4
リヴァイズホームi	4	丸松木材(株)	63.35	6
中尾木材工業(株)	3	中尾木材工業(株)	58.78	3
つかした建築	3	グリーンウッドタクミ協同組合	51.23	6
(株)マルイチ	3	(株)伊藤源	38.45	3
(株)木屋長工務店	2	下村木材(株)	35.55	2
(有)KOYU	2	(有)八木商店	32.48	3
(株)セイキョーホーム	2	(株)土山木協	24.62	1
(有)谷永工務店	2	(有)滝沢材木店	20.07	1
平木木材工業(株)	2	(有)高木製材所	16.88	2
古川工業(株)	2	(株)滋賀ナイス	16.67	1
(株)北條	2	(有)山本材木店	15.36	2
向工務店	2	丸和産業(株)	16.22	1
山本工務店	2			
その他1戸	29	その他 7事業体		7
計 (51工務店)	129	計(28事業体) (1,514.97 m ³)		